

医薬品情報学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Geng L, Matsumoto M, Yao F, Umino M, Kamiya M, Mukai H, Kawakami S: Microfluidic post-insertion of polyethylene glycol lipids and KK or RGD high functionality and quality lipids in milk-derived extracellular vesicles. European journal of pharmaceutical sciences : official journal of the European Federation for Pharmaceutical Sciences : 106929, 2024. doi: 10.1016/j.ejps.2024.106929.
2. Miyata J, Yamanashi H, Kawashiri SY, Soutome S, Arima K, Tamai M, Nonaka F, Honda Y, Kitamura M, Yoshida K, Shimizu Y, Hayashida N, Kawakami S, Takamura N, Sawase T, Yoshimura A, Nagata Y, Ohnishi M, Aoyagi K, Kawakami A, Saito T, Maeda T: Profile of Nagasaki Islands Study (NaIS): A Population-Based Prospective Cohort Study on Multi-disease. Journal of Epidemiology 34(5): 254-263, 2024. doi: 10.2188/jea.je20230079.
3. Okami K, Fumoto S, Yamashita M, Nakashima M, Miyamoto H, Kawakami S, Nishida K: One-Step Formation Method of Plasmid DNA-Loaded, Extracellular Vesicles-Mimicking Lipid Nanoparticles Based on Nucleic Acids Dilution-Induced Assembly. Cells 13(14): 1183, 2024. doi: 10.3390/cells13141183.
4. Fukuda T, Kishikawa N, El-Maghrabey M, Nakamura S, Ohba Y, Kawakami S, Wada M, Kuroda N: 4-Iodobenzonitrile as a fluorogenic derivatization reagent for chromatographic analysis of L-p-boronophenylalanine in whole blood samples using Suzuki coupling reaction. Analytica Chimica Acta 1313: 342700, 2024. doi: 10.1016/j.aca.2024.342700.
5. Shuwari N, Inoue C, Ishigami I, Jingushi K, Kamiya M, Kawakami S, Tsujikawa K, Tachibana M, Mizuguchi H, Sakurai F.: Small extracellular vesicles carrying reovirus, tumor antigens, interferon- β , and damage-associated molecular patterns for efficient tumor treatment. Journal of Controlled Release 374: 89, 2024. doi: 10.1016/j.jconrel.2024.07.079.
6. Hatta D, Makiya S, Kanamoto K, Watanabe K, Fuchigami Y, Kawakami S, Kinoshita A, Yoshiura KI, Kurotaki N, Shirotani K, Iwata N: Proline-rich transmembrane protein 2 regulates the magnitude and frequency of dopamine release by repetitive neuronal stimuli in the striatum of L-dopa-treated mice. Neuropsychopharmacology Reports : 2024. doi: 10.1002/npr.12478.
7. Ogawa K, Aikawa O, Tagami T, Ito T, Tahara K, Kawakami S, Ozeki T: Stable and inhalable powder formulation of mRNA-LNPs using pH-modified spray-freeze drying. International Journal of Pharmaceutics : 124632, 2024. doi: 10.1016/j.ijpharm.2024.124632.

B 邦文

B-a

1. 丹羽 節, 田原 強, Chase Charles E., Fang Francis G., 中岡貴義, 入江さつき, 林中恵美, 和田康弘, 向井英史, 増富健吉, 渡辺恭良, 崔 翼 龍, 細谷孝充: 脳膠芽腫のコンパニオン診断用PETトレーサーとしての[¹¹C]エリブリンの合成. JSMI Report 17(1): 30-33, 2024.
2. 川上 茂: 肺がん細胞への標的指向性を示すRGD修飾エクソソーム製剤の創製と治療応用. Smoking Science 39(1): 3, 2024.
3. 日宇 健, 松尾彩香, 神谷万里子, 松本 眞, 吉田道春, 中村光流, 馬場史郎, 川上 茂, 松尾孝之: 悪性神経膠腫に対するmRNA封入脂質ナノ粒子の開発. 日本脳腫瘍学会学術集会プログラム・抄録集 42nd: 2024.
4. 川上 茂, 異島 優, 有馬英俊, 山吉麻子, 麓 伸太郎: フォーカスグループのこれまでの軌跡と今後の展望: 超分子薬剤学FG. 公益社団法人 日本薬剤学会: 2024.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	2	0	9	0	16

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
川上 茂・教授	評議員	日本DDS学会
川上 茂・教授	評議員/デリバリー (DDS) 幹事	日本核酸医薬学会
川上 茂・教授	代議員	日本薬剤学会
川上 茂・教授	代議員	日本薬物動態学会
川上 茂・教授	代議員	日本薬学会

川上 茂・教授	役員	遺伝子・デリバリー研究会
川上 茂・教授	長崎県ジェネリック医薬品使用促進協議会 会長	長崎県庁
川上 茂・教授	ディレクターズ・イニシアティブ・セッ ション (DDS部門) 世話人	日本薬物動態学会
川上 茂・教授	Editorial Board	Pharmaceutics
川上 茂・教授	Scientific Advisor	Journal of Pharmaceutical Sciences
川上 茂・教授	事務局	遺伝子・デリバリー研究会
川上 茂・教授	日本薬剤学会, 超分子薬理学フォーカスグ ループ (FG) 幹事	
川上 茂・教授	日本薬剤学会, 核酸・遺伝子医薬フォーカ スグループ (FG) 幹事	
川上 茂・教授	理事	日本DDS学会
川上 茂・教授	日本薬物動態学会, ディレクターズ・イニ シアティブ・セッション (DDS部門) 副代表	日本薬物動態学会
向井英史・准教授	薬学と社会教科担当教員会議委員	薬学教育協議会
向井英史・准教授	医薬品情報学教科担当教員会議委員	薬学教育協議会
向井英史・准教授	薬剤師国家試験問題検討委員会 (法規・制 度・倫理) 委員	日本私立薬科大学協会
向井英史・准教授	DDSディレクターズ・イニシアティブ・セッ ション (DDS-DIS) 世話人	日本薬物動態学会
向井英史・准教授	分析・イメージングディレクターズ・イ ニシアティブ・セッション (分析・イメージ ング-DIS) 世話人	日本薬物動態学会

競争的研究資金獲得状況 (共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研 究 題 目
川上 茂・教授	日本医療研究開発機構	分担	創薬基盤推進研究事業 「新しい医薬品モデ リティ・ワクチンや感染症治療薬の動態評価 のためのPETイメージング技術の高度化に関す る研究」
川上 茂・教授	上原記念生命科学財団	代表	研究助成金「新規機能性分子修飾核酸封入脂 質ナノ粒子の開発と応用」
川上 茂・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 挑戦的研究(開拓)「脳 内の各種細胞に対する核酸医薬送達・ゲノム 編集技術の創成」
川上 茂・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「悪性脳腫 瘍に対するマイクロバブルと集束超音波によ るmRNA医薬非侵襲的送達法の開発」
川上 茂・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「悪性神経 膠腫に対するsiRNAを使用した核酸医薬導入へ の挑戦」
川上 茂・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「ナノリポ ソームを用いたドラッグデリバリーによる自 己炎症性疾患の治療戦略」
川上 茂・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(A)「腫瘍溶解 性ウイルスを用いた人工受容体のがん特異的 発現による高効率ターゲティング」
川上 茂・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「網 膜への低侵襲的局所投与型核酸送達システ ムの創製」

毛利浩太・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「PETを用いた肝疾患病態におけるmRNA内封脂質ナノ粒子の動態—遺伝子発現相関研究」
向井英史・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「難治性がん治療用デザイナー細菌の開発」
向井英史・准教授	日本医療研究開発機構	代表	創薬基盤推進研究事業 「新しい医薬品モダリティ・ワクチンや感染症治療薬の動態評価のためのPETイメージング技術の高度化に関する研究」
向井英史・准教授	武田科学振興財団	代表	薬学系研究助成 「転移がん治療を目的としたデザイナー細菌による抗がん物質の現地生産」
向井英史・准教授	日本医療研究開発機構	分担	次世代がん医療加速化研究事業 「次世代がん医療加速化研究事業における先進的技術支援と効率の推進マネジメント」
向井英史・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「PETを用いた肝疾患病態におけるmRNA内封脂質ナノ粒子の動態—遺伝子発現相関研究」
川上 茂・教授	小野薬品工業株式会社	微粒子製剤や抗体をがん微小環境に送達する方法論に関する基礎的検討	
川上 茂・教授	日油株式会社	新規ペプチド修飾脂質を活用した細胞活性化剤の開発	

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
川上 茂・教授	肺指向性薬物送達体	2019年5月27日	出願中	特願2019-098677
川上 茂・教授	経肺投与用薬物送達体	2019年5月28日	出願中	特願2019-099112
川上 茂・教授	Method for operating a device for delivering a substance to be introduced, and method for delivering a substance to be introduced	2013年5月21日	出願中	11835898.5 (欧州出願)
川上 茂・教授	Method for operating a device for delivering a substance to be introduced, and method for delivering a substance to be introduced	2013年5月16日	出願中	13/881, 304 (米国出願)
川上 茂・教授	脂質性化合物、リポソーム、エクソソーム、脂質ナノ粒子及びドラッグデリバリーシステム	2021年11月25日	出願中	特願2021-190933
川上 茂・教授	脂質性化合物、リポソーム、エクソソーム、脂質ナノ粒子及びドラッグデリバリーシステム	2022年11月25日	出願中	PCT/JP2022/043546
川上 茂・教授	生体由来材料の透明化試薬	2018年2月22日	出願中	PCT/JP2018/6564
川上 茂・教授	生体由来材料の透明化試薬	2018年2月22日	2022年3月3日	特許7033795
川上 茂・教授	糖誘導体、またはその塩、セクチン結合剤、糖結合体、粒子状キャリア、および輸送方法	2015年3月5日	出願中	特願2015-43050

川上 茂・教授	導入対象物質の送達装置の作動方法および導入対象物質の送達方法	2010年10月25日	出願中	特願2010-238885
川上 茂・教授	アニオン性を有する新規ナノバブルポリリポ・プレックスの製造方法	2012年8月20日	出願中	特願2012-181409
川上 茂・教授	アニオン性を有する新規ナノバブルポリリポ・プレックスの製造方法	2014年2月27日	出願中	PCT/JP2013/07206
川上 茂・教授	導入対象物質の送達装置の作動方法および導入対象物質の送達方法	2011年5月26日	出願中	PCT/JP2011/062102
川上 茂・教授	単糖-6-リン酸修飾コレステロール誘導体含有製剤	2011年9月7日	出願中	特願2011-195229
川上 茂・教授	単糖-6-リン酸修飾コレステロール誘導体含有製剤	2012年9月5日	出願中	PCT/JP2012/072651
川上 茂・教授	活性成分封入高分子ミセル及び活性成分の溶出制御方法	2008年11月14日	出願中	特願2008-292740
川上 茂・教授	肝指向性リボソーム組成物	2005年10月24日	出願中	特願2005-308288
川上 茂・教授	免疫担当細胞指向型オリゴヌクレオチド・リボソーム複合体	2005年1月14日	出願中	特願2005-8307
毛利浩太・准教授	膜透過性ペプチド鎖を有する多糖誘導体	2016年2月23日	2020年4月16日	特許第6692051号
毛利浩太・准教授	膜透過性ペプチドを側鎖に有する高分子化合物	2016年2月23日	2021年5月10日	特許第6880526号

その他

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
川上 茂・教授	中分子医薬および超分子DDSの開発・評価とレギュレーションについて考える	薬事日報	2024年3月22日	学会のシンポジウムの内容が取り上げられた。

学術賞受賞

氏名・職	賞 の 名 称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
川上 茂・教授	令和6年度長崎大学インパクト論文賞（2/2件）	長崎大学	令和6年に掲載された論文が優れた論文として表彰された
川上 茂・教授	令和6年度長崎大学インパクト論文賞（1/2件）	長崎大学	令和6年に掲載された論文が優れた論文として表彰された

特筆すべき事項

DDS研究で多くの招待講演を行った。